

令和4年度天皇誕生日祝賀レセプション（令和5年2月21日）

2月21日、ドゥシャンベ市内のハイアット・リージェンシーホテルにおいて、天皇誕生日レセプションを開催しました。

新型コロナ禍のため3年ぶりの開催となった今回のレセプションには、ザヴキ・ザヴキゾダ経済発展貿易大臣をはじめとするタジキスタン政府・団体等関係者のほか、当地外交団・国際機関や日系企業の関係者など300人以上が来場し、和食、日本酒や日本ワインなどを楽しんでもいただきました。

相木大使は挨拶の中で、昨年外交関係樹立から30周年を迎え、政治やビジネス、開発協力や文化・スポーツなどの分野で発展を続ける日本とタジキスタンのこれまでの交流の歴史について述べるとともに、天皇陛下が長年にわたって水問題の研究に取り組まれてきたことをも踏まえ、我が国として、国際社会における水問題への取組みをリードしているタジキスタンとの協力の意義を強調しました。

